



「三島村と出会えてよかった！」

～しおかぜ留学生は三島村でたくさんの方のことを学んでいます～

しおかぜ留学生が留学して思ったこと、学んだことなどを地元の新聞「南日本新聞」の投稿欄にたくさん投稿してくれていますので紹介します（学年は掲載当時です）。

留学を考えている「あなた」「保護者の皆さん」、ぜひ参考にしてください！

[2024年度]

【掲載内容】

| [題 名] | [掲 載 日] | [出身都道府県] |
|-------------------|-------------|----------|
| 1 私は私のままで ゆっくりでいい | 2024年 4月22日 | 鹿児島県 |
| 2 8人で頑張る | 2024年 5月 8日 | 神奈川県 |
| 3 すれ違う人皆あいさつ 驚いた | 2024年 5月21日 | 東京都 |
| 4 うれしい手紙 | 2024年12月 3日 | 東京都 |
| 5 竹島のオススメ | 2025年 1月21日 | 鹿児島県 |
| 6 楽しい理由 | 2025年 3月24日 | 千葉県 |

私は私のままで ゆっくりでいい

三島竹島学園 6年生

「そんなのない。」学校の授業で先生に目標を書いたと言われたとき、そう思った。

みんなが「ああしたい」「こうしたい」と目標を書いているとき、私は1人手を止めていた。

「早くみんなに合わせなきゃ。」でも、何も思いつかない。まわりに流されてばかり。自分がないみたい。結局、昼休みに書いた。

学園に来たはじめもそうだった。分からない。何もできず、ずっとかたまっていた。でも、担任の先生は「ゆっくり自分のペースでいいよ。」と優しく声をかけてくれた。なんだか楽になれた。苦手な文章が今では得意になった気がする。

三島竹島学園は今年、児童生徒合わせて8人しかいない。すごく少ないからこそ、後輩のお手本になれるような、頼りがいのある6年生になりたいという目標ができた。

どれくらいかわかるかは分からない。ゆっくりでもいい。期待や応援してくれる人がいるうちは、それを幸せだと思って頑張っていきたい。

そして目標をくれた学園で人生で一度しかない小学校生活を、みんなとの楽しい思い出で飾っていきたい。



(2024年4月22日 掲載)

8人で頑張る

三島竹島学園 5年生

今年の三島竹島学園は、前期生（小学生）6人、後期生（中学生）2人の全校児童生徒8人です。人数がとても少なくなりました。

僕は進級して高学年の5年生になり、頑張りたいことがたくさんあります。

一つ目は「後輩に優しく」です。困っていたら、分からないところを丁寧に教えてあげたいです。

二つ目は「テストを解けるように」です。しっかり勉強して「この問題が分からない」というのをなくしたいです。

三つ目は「早く起きて、朝ご飯の手伝いを積極的にする」です。お昼や夜のご飯の手伝いも、たくさんできるようにしたいです。

四つ目は「早く寝る」。最近、遅い時間になっても起きています。時計を見て早く寝るように心がけます。

5年生のうち全部できるようになれればと思っています。

(2024年5月8日 掲載)



すれ違う人皆あいさつ 驚いた

三島竹島学園 9年生

三島竹島学園に入学するために今年度、竹島にやってきました。島を初めて見た時、名前のおり、竹に覆われていて驚きました。海も近いし、自然に恵まれたいい島だなと思いました。卒業するまでの1年間の生活が楽しみです。

しおかぜ留学制度を使って島に来たので、しおかぜハウスに泊まっています。そこは、留学生を受け入れている家です。里親さんと他の留学生たちが笑顔で迎えてくれました。

そこで、驚いたのは、夕食に釣った魚が出されたことでした。ずっと東京に住んでいたのに、こんなに肉々しくてうまい魚を食べるのは初めてでした。

次に驚いたのは、すれ違う人々がみんなあいさつをしてくれたことでした。都会ではそんなことはほとんどありません。島の皆さんは本当に温かくて、すてきな島です。これからも竹島での生活を楽しみです。

(2024年5月21日 掲載)



うれしい手紙

三島大里学園 8年生

三島村の三つの島を巡るワンデークルーズツアーがあります。三島大里学園の生徒は港に来たツアー客にジオガイドとして話すことになっていました。一生懸命準備をして、本番が楽しみでした。

しかし、台風の影響で中止になってしまいました。三島村の特産品や歴史を知ってほしかったので、とても残念でした。

準備した動画を三島村ジオパークのホームページに村役場が載せて、ツアー会社が参加予定者に送ってくださいました。動画を見た方々から感想の手紙が届きました。

「次こそは島を訪れたい」という言葉や、私たちの工夫について気付いた点を書いてくださっていました。頑張ってたよかったです。

ヘルパーさんと参加を希望した目の不自由な方もいました。これからもジオ学習を通して、三島村の魅力を伝えていきたいです。



【ワンデークルーズに向けたリハーサルの様子】

(2024年12月3日 掲載)

竹島のオススメ

三島竹島学園 3年生

私が住んでいる竹島のオススメしたい場所を二つ紹介します。

一つ目はしおかぜハウスです。しおかぜ留学生としてお姉ちゃんと一緒に暮らしています。

最初はお母さんやお兄ちゃんに会えなくて悲しかったです。学園のみんなと生活してみると、休みの日に海で遊んだり夜にトランプをしたりして楽しくなりました。

学園から帰ると、おばちゃんが作った料理の匂いがします。おじちゃんが釣ってきた魚のお刺身もあります。どちらもとてもおいしいです。

二つ目は校庭です。海や開聞岳のすごくきれいな景色が見えるのです。晴れている日には、校庭にあるベンチで授業をすることがあります。気分がとても良くなります。

竹島にはみりよくがいっぱいあり、地域の人もみんな仲良しです。ぜひ遊びに来てください。



(2025年1月21日 掲載)

楽しい理由

三島硫黄島学園 6 年生

「この火は私たちだけで消したのではありません。
地域の方みんなが協力してくださったからこそ、
消すことができました。」

硫黄島で山火事が起きた1月、消火活動に来てくださった消防隊の方の言葉です。かっこいいなと思いました。

私はしおかぜ留学生として硫黄島に来て半年になります。住んでみて感じたことは、人とのつながりがたくさんあって強いということです。

学校の釣り体験では、地域の方に船を出してもらって釣りの仕方やえさのつけ方、魚のさばき方を教えてもらいました。私は6匹も釣ることができました。「こんなに釣れるんだ」とうれしくなりました。

このようなイベントができるのは地域との関わりが深いからだと考えます。

友達ともつながりが大切です。つながりがあることで協力し、信頼が深まって、楽しく過ごしていけるのだと思います。



(2025年3月24日 掲載)